

2020 年度第 3 四半期業績発表

2020 年 11 月 9 日

エボニック、危機をうまく乗り切る

- ・ 調整後 EBITDA は前年同期比わずか 4%減の 5 億 1,900 万ユーロ、売上高は 29 億ユーロ
- ・ 調整後 EBITDA の通年見通しは、18 億ユーロから 20 億ユーロの範囲
- ・ 2020 年度フリーキャッシュフロー見通しを上方修正

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

厳しいマクロ経済環境が続く中、エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)は危機的状況にうまく対処しています。10 月 15 日に発表した速報値を確定し、第 3 四半期の調整後 EBITDA は、前年同期比わずか 4%減の 5 億 1,900 万ユーロ、売上高は、29 億 2,000 万ユーロ(前年同期:32 億 3,000 万ユーロ)となりました。

取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「発表済みの速報値を確定し、市場の予想を明らかに上回る業績を達成できたことを嬉しく思います。昨年から実施してきた戦略的措置が功を奏し、うまく危機を乗り切れています」と述べています。

第 3 四半期の業績に続き、2020 年の通年見通しも確定しました。17 億ユーロから 21 億ユーロの範囲で見込んでいた調整後 EBITDA を、18 億ユーロから 20 億ユーロ(2019 年:21.5 億ユーロ)の範囲に修正しました。売上高の見通しは 115 億から 130 億ユーロの範囲で(2019 年:131 億ユーロ)、変更はありませんでした。

フリーキャッシュフローの通年見通しも上方修正し、2020 年度は約 7 億ユーロ(2019 年度キャッシュフロー:7 億 1,700 万ユーロ、メタクリレート事業売却に伴う税金を含まない)を見込んでいます。調整後 EBITDA に対するフリーキャッシュフロー、いわゆるキャッシュフロー率の見通しは、前年並みの 33.3%以上から 35%以上に修正しました。

CFO ウテ・ヴォルフ(Ute Wolf)は、「コロナ危機はまだ収束しておらず、視界不良の状況が続いています。それでも私たちは皆様に約束したことを実行しています」とコメントしています。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス 12F

www.evonik.jp

第3四半期には、前年同期並みの3億1,200万ユーロのフリーキャッシュフロー(2019年度第3四半期キャッシュフロー:3億2,100万ユーロ、メタクリレート事業売却に伴う税金を含まない)を創出することができました。

事業部門ごとの業績

スペシャルティアディティブス:高い回復力、安定した価格、27.5%の持続可能な高利益率が同部門の特徴となっています。建設や再生可能エネルギーなどのエンドマーケットにおける事業展開は堅調に推移しており、政府の景気刺激策の恩恵も受けています。特に自動車業界向けのコーティング剤に対する需要は第2四半期より回復したものの、依然として前年同期を下回っています。スペシャルティアディティブスの第3四半期売上高は、前年同期比10%減の7億7,700万ユーロ、調整後 EBITDA は8%減の2億1,400万ユーロとなりました。

ニュートリション&ケア:第3四半期売上高は、前年同期比2%減の7億1,500万ユーロとなりました。主な展開としては、ヘルスケア分野での需要が高まったことが挙げられます。必須アミノ酸は為替の影響で売上高がわずかに減少しましたが、販売価格は前年同期比を大幅に上回りました。調整後 EBITDA は18%増の1億4,000万ユーロとなりました。

スマートマテリアルズ:第3四半期の業績は、第2四半期に比べて明らかに好調であったものの、売上高、利益ともに前年同期を下回りました。世界的な景気減速の影響を受け、自動車業界の新車事業を中心に様々な業界で販売量が減少し、とりわけ高機能ポリマーやタイヤ業界向けのシリカでその傾向が顕著に現れました。一方で、ペルオキシ・ケム社(PeroxyChem)の買収は、大きなプラス効果をもたらしました。第3四半期の売上高は5%減の7億9,000万ユーロ、調整後 EBITDA は13%減の1億3,700万ユーロとなりました。

パフォーマンスマテリアルズ:C4分野の製品は、主に自動車業界や燃料業界の需要縮小を受け、売上高が減少しました。原油価格の大幅な下落も事業を圧迫しました。第3四半期の売上高は27%減の4億4,400万ユーロ、調整後 EBITDA は43%減の2,800万ユーロとなりました。

エボニック・グループ：損益計算書(抜粋)

(単位:百万ユーロ)	第3四半期			1~9月期累計		
	2019	2020	増減(%)	2019	2020	増減(%)
売上高	3,232	2,917	-10	9,824	8,986	-9
調整後 EBITDA	543	519	-4	1,647	1,488	-10
調整後 EBIT	293	269	-8	948	744	-22
調整	-74	-24		-114	-64	
純金融費用	-7	-24		-112	-99	
税引前利益(継続事業)	212	221	4	722	581	-20
法人税等	-54	-69		-155	-160	
税引後利益(継続事業)	158	152	-4	567	421	-26
税引後利益(非継続事業)	1,326	-		1,395	-18	
税引後利益	1,484	152	-90	1,962	403	-79
非支配持分	5	3		17	10	
当期純利益	1,479	149	-90	1,945	393	-80
調整後当期純利益	195	186	-5	671	527	-21

各事業部門の業績－第3四半期

(単位:百万ユーロ)	売上			調整後 EBITDA		
	2019	2020	増減(%)	2019	2020	増減(%)
スペシャルティアディティブス	861	777	-10	232	214	-8
ニュートリション&ケア	726	715	-2	119	140	18
スマートマテリアルズ	833	790	-5	157	137	-13
パフォーマンスマテリアルズ	607	444	-27	49	28	-43
サービス	196	184	-6	32	41	28
その他事業	9	7	-22	-46	-41	-11
グループ全体	3,232	2,917	-10	543	519	-4

各事業部門の業績－1~9月期累計

(単位:百万ユーロ)	売上			調整後 EBITDA		
	2019	2020	増減(%)	2019	2020	増減(%)
スペシャルティアディティブス	2,571	2,377	-8	683	656	-4
ニュートリション&ケア	2,176	2,205	1	353	427	21
スマートマテリアルズ	2,535	2,369	-7	483	405	-16
パフォーマンスマテリアルズ	1,981	1,466	-26	195	57	-71
サービス	542	546	1	99	107	8
その他事業	19	23	21	-166	-164	1
グループ全体	9,824	8,986	-9	1,647	1,488	-10

エボニック・グループの事業部門別従業員数

	31.12.2019	30.09.2020
スペシャルティアディティブス	3,651	3,649
ニュートリション&ケア	5,322	5,257
スマートマテリアルズ	7,065	7,610
パフォーマンスマテリアルズ	1,645	1,640
サービス	14,451	14,348
その他事業	289	318
グループ全体	32,423	32,822

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100 カ国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの 1 つです。2019 年度は、131 億ユーロの売上、21.5 億ユーロの営業利益(調整後 EBITDA)を計上しました。革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、32,000 人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2019年度は、28.7億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2020年11月3日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)